

当院気管支喘息専門外来でのチーム医療による取組み

研究機関名 国立病院機構 南岡山医療センター
研究機関長 国立病院機構 南岡山医療センター 谷本 安
研究責任者 国立病院機構 南岡山医療センター 薬剤部 児玉沙織

1. 研究の対象

平成 26 年 4 月～ 気管支喘息専門外来を受診された方

2. 研究目的・方法

【背景】

気管支喘息治療においては吸入ステロイドを主体とした長期管理が中心となる。良好なコントロール状態を維持するためには、患者さん自ら治療に納得し積極的に治療を受け、正しい吸入手技を習得することが重要である。近年多くの吸入薬が発売されており選択範囲が広がる一方、複数の吸入器を使用するケースも多く、吸入手技の煩雑さや治療の中断が問題となる。

【目的】

患者さんにあった吸入療法が適切に実践される必要があるが、通常の外來診療では時間や人員が限られており、十分な指導を行うことができないのが現状であった。平成 26 年 4 月より追加検査や指導等が必要と判断された患者さんを対象にし、気管支喘息専門外来を開始し、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師等がチームで関わることとした。

【方法】

受診された患者さんに対して吸入評価を行う。(製薬会社提供の指導箋や練習器、当院で作成した指導箋や評価表を用いて)

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、薬歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

国立病院機構南岡山医療センター

担当者：管理課 建部 宏明

電話：086-482-1121（平日：8時30分～17時15分）

ファックス：086-482-3883